

野田佳彦首相は8日、就任後初めて福島県入りした。東京電力福島第一原子力発電所を視察したほか、午後には佐藤雄平知事と会談し、政権として原発事故の収束に最優先で取り組む方針を表明する。放射性物質を含む廃棄物の中間貯蔵施設のあり方についても意見交換する。

首相は8日午前、原発事故対応の拠点となっている楡葉町の「Jヴィレッジ」を訪れ、作業員や自衛隊員を激励した。この後、第一原発に移動し、損傷した原子炉建屋などを視察。首相は原発内の緊急時対策室で、東電の社員ら200人を前に「事故の収束は国が、世界が望んでいる。克服できるかは皆さんがカギ。私も皆さんと心を合わせて、力を合わせて懸命に努力する」とあいさつした。高い放射線量が観測された大熊、双葉両町の一部地域も車中から視察する予定だ。午後には、福島県庁

で佐藤知事、原発周辺の自治体首長らとの意見交換に臨む。

武器輸出見直し 「今後検討する」

藤村官房長官

藤村修官房長官は8日午前の記者会見で、民主党の前原誠司政調会長が米国の講演で武器輸出三原則の見直しに言及したことについて「今後、検討していく

経常黒字4割減 7月

財務省が8日発表した7月の国際収支(速報)によると、海外とのモノやサービスの取引や投資の状況を示す経常収支の黒字額は、前年同月比42・4%減の9902億円だった。黒字幅が前年同月より減ったのは、5カ月連続。震災による輸出減などで貿易・サービス収支は前年同月より9308億円減り、1829億円の赤字に転じた。訪日外国人が4割近く減って「サービス収支」の赤字幅が拡大する一方、輸出の減少や輸入燃料の価格上昇で「貿易収支」の黒字幅が低水準だったことが響いた。日本企業の外資からの配当金などを示す所得収支の黒字額は18・1%増の1兆2467億円。

独の日本人音楽家、慈善コンサート

東日本大震災で被害を受けた仙台フィルハーモニー管弦楽団を支援しようと、ベルリンの名門オーケストラで活躍する日本人音楽家たちが9日夜、チャリティーコンサートを市内の教会で開く。異なるオケで活動する日本人が一堂に会する異例の取り組みだ。

ベルリンは、フィルハーモニー管弦楽団や放送交響楽団、ドイツ交響楽団などがひしめく世界有数の音楽都市。ベルリン・フィルのコンサートマスター樫本大進さんや、コンツェルトハウス管弦楽団のコンマス日下紗矢子さんが活躍している。

震災後、ベルリンでは被災地支援の演奏会が続いた。競争の激しい街で活動する音楽家たちは、ふだんは横の交流が乏しいが、ドイツ・オペラやバイロイト音楽祭で演奏してい



震災犠牲者のための新曲のリハーサルをする日本人音楽家たち。ベルリン、松井写す

震災支援 ベルリンで協奏